

平成30年  
9月議会  
一般質問

諏訪湖浄化について

**【地域の声】**①諏訪湖の水質改善のため、ヒシの肥料化する会社など、もっと推進してほしい。  
②諏訪湖をきれいにしてほしい。

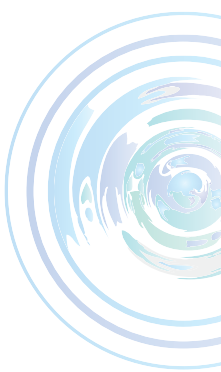
**【共田質問1】**様々な努力により水質が改善されてきた諏訪湖ですが、さらなる改善が難しくなってきた中、肥料やヒシ等が汚染原因ではないかと、憶測で混乱が生じています。科学的見地から現在の汚染の原因を整理し、何が諏訪湖の水質改善に必要なのか示す必要があると考えますが、いかがでしょうか。

**【回答】**現在の汚染の原因につきましては、汚濁物質の流入が考えられておりますが、その対策に向けてはさらに詳細なデータ収集をし、分析していくことが必要と考えております。今後、詳細な調査を行うとともに、水質データの解析、水質汚濁のメカニズム解明に向けた調査研究を更に進めてまいります。

**【共田意見】**諏訪湖の浄化は地域住民の悲願です。そして浄化が完成すれば長野県の宝となります。ぜひ浄化方法を示し、地域住民から協力を頂けるような形をとっていただければと思います。

**【共田質問2】**諏訪湖の水質改善がなければ、周辺整備をしても利活用は進まず、諏訪湖の創生は実現しないとの声もあります。諏訪湖の水質及び生態系の保全等に関する調査研究体制を充実強化するため、諏訪湖環境研究センター(仮称)の設置を検討するとのことですが、設置時期や機能はどのようになるのかお尋ねします。

**【回答】**諏訪湖環境研究センター(仮称)の機能につきましては、諏訪湖における水質や生態系の保全に関する調査研究、県内河川・湖沼等の水質保全に関する調査研究、情報発信の強化、学習活動の推進、大学や地域関係団体等、関係機関との連携の強化などを想定しているところです。これらの内容を具体化するため、本年6月に、有識者や関係市町、県機関で構成する検討会を設置しまして、現在、検討を行っているところであり、2022年度までの業務開始を目指して取り組みを進めてまいります。



平成30年  
9月議会  
一般質問

諏訪湖周サイクリングロード及びジョギングロードについて

**【地域の声】**諏訪湖周を自転車一周するには危険な個所がたくさんあるので改善して、高まっている自転車人気をもっと観光面で活用できるように対策してほしい。

**【共田質問1】**諏訪湖周ジョギングロードは現在98%完成していますが、着工から30年もの時間を要しているため、古いところは危険な個所が出来てしまっています。この事例に鑑み、サイクリングロードの建設は県主導で早期に進めるべきだと考えますが、いかがでしょうか。

**【回答】**平成28年8月に県が主体となり「諏訪湖周サイクリングロード基本計画」を策定し、整備の基本方針などを決めたところであり、全長約16kmについて、それぞれの管理主体が整備を進めることとしております。このうち県の整備区間約6.6kmについては、年内に諏訪市豊田付近約700mについて、県が先行して工事に着手します。県は引き続き技術助言や進捗管理等を行い、円滑に進むよう協力を指導してまいります。

**【共田質問2】**ボート競技の元オリンピック選手、岩本亜希子さんとの「諏訪湖の可能性についての意見交換」の中で、日本のみならず海外でも、諏訪湖ほど商業・観光など様々な都市機能が周辺に充実している所はほとんどないとお聴きしました。その様々な都市機能を結ぶことで新しい自転車環境ができます。しかし、サイクリングロードから様々な施設までの道のりは危険性も確認され、自転車には適しておりません。観光地を結べる可能性があるため、それぞれへのルート整備も同時に考える必要があると考えますが、いかがでしょうか。

**【回答】**観光地へのルート整備については、関係市町と諏訪建設事務所が連携して検討を行っており、今年度中をめどに策定する諏訪湖周の自転車活用推進計画の中に反映させていく予定であります。

**【共田意見】**自転車は様々な可能性を秘めています。自転車活用推進計画と自転車利用に関する条例を、より実効性のある、未来に繋がるよう進めていただくことを要望します。